

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた課題と取組の状況

【特徴(強み)】

＜保健所による地域の特徴を生かした取組みの推進＞

- ・精神保健福祉に関わる管内の機関と連携を密に図り、地域移行支援について協力体制がある。
- ・ピアサポーターの活用による他事業への波及

課題	課題に解決に向けた取組状況	取組の成果
長期入院者などは、入院生活が安心の場となる場合や、家族の受け入れが困難になっていくことがあり、早期からの退院へのアプローチ方法が課題	<ul style="list-style-type: none"> ・行政側は、医療機関との連携及び家族や地域の理解促進を図る。 ・医療側は、本人及び家族に対し、入院直後から退院に向けての働きかけを行う。 ・ピアサポーターを活用し、本人の退院意欲を高める支援を行う。 ・地域住民に対し、精神障害の理解を深めるための研修を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入院中に医療機関と地域の関係機関が会して、措置入院者の退院後支援の検討や、治療中断による緊急対応事例を減らすための方策について意見交換を行い、地域移行を推進するための課題や役割を共有した。
保健・医療・福祉の連携状況について、市町村によってばらつきがある	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所の地域移行推進会議において、市町村の好事例から、連携や役割について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所の緊急対応や地域生活の定着支援の事例を共有し、実績のない市町村において支援をイメージし、精神保健の積極的な関わりの認識を高めた。

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (現時点)※	目標値 (令和元年度末)	達成状況の見込み(評価)
①保健所圏域ごとに、保健・医療・福祉の協議の場を開催する	7	7	地域の課題や各機関の役割について共有し、連携が進んだ

※現時点の値が分かれば記入して下さい。分からない場合は、年度当初の値で構いません。

●指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。